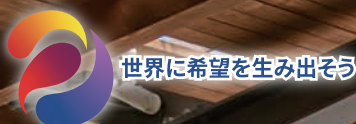


ガバナー 月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
2023-2024 Rotary International District 2630



10
2023/OCT.
vol.4



第2630地区のHPはスマートフォンでもご覧いただけます。



第2630地区のFacebookはこちらから。(登録が必要です)

Contents

2023-2024年度 第2630地区ガバナーメッセージ
奉仕プロジェクト社会奉仕委員会 委員長メッセージ
米山月間
トピックス
活動事業報告
第2630地区 会員数報告
第2630地区 会員動静報告
ガバナー事務所だより

地域社会の経済発展・米山月間



ロータリーの奉仕の原点

地域社会の経済発展・米山月間

2023-2024年度
国際ロータリー第2630地区ガバナー

篠原 一行 (多治見リバーサイドRC)

奉仕とは…。 奉仕の定義を調べると、「職業の知識やスキルを社会のために進んで役立てましょう、より良い社会づくりに貢献しましょう、平和と相互理解を推進しましょう」と、あります。

「人々のために何か良いことをしよう」と、ひとりのクラブ会員の提案で、「あそこで困っています、ここで困っています、こんなことで困っています。」「別の会員も知っている、何とか助けてあげたい。」「更に他の会員も聞いたことがある、こういう奉仕をしたらどうでしょうか？」などと、会員同士で色々話し合い、皆が心の中を打ち明けていくことで親睦（フェローシップ）が始まります。

ひとりの提案に、多くの会員たちが参加して議論が始まり、親睦につながるストーリーとなります。それが、ロータリーの奉仕活動の理想です。奉仕とは活動ありきで始めるのではなく、そこに「人々や地域への愛があるかどうか」が、ロータリーの奉仕であって、活動優先のボランティア活動とは違うところです。奉仕の原点とは、相手を思いやる心、相手に寄り添う姿勢、心の中に育む相手への愛なのです。地域や人々へ愛情を傾けることなのです。

ロータリーだから何か事業をしなければならない。とりあえずこれやっておこうか。お金ももらえるかも知れない？ これではおかしいです。単なるボランティア団体ならば良いでしょうが、少なくともロータリーの奉仕活動の出発点ではありません。なぜならそこにはロータリーの理念も、人としての愛情もないからです。

奉仕とは愛情表現であり、本当の奉仕とはそれぞれの心の中であって、人の目には見えないものであると思います。「何をするかではなく、何のためにするか」という理念がとても大切です。

奉仕とは、そんな愛ある人たちの集まり、すなわち親睦から始まるように思います。

ロータリーでは、一つの事業に対して色々と論じながら進め、行き詰まったらまた誰かに聞いたり、「この事業についてどう思う」などと、さらに多くの人と議論を重ねたりしていけば、より良い結果が生まれてくると思います。実際に、奉仕によってもたらされるものは、そこに携わった人たちの愛情と、そこにいる人たちの感謝の気持ち、そういうことが奉仕の愛によって育まれ、それがまた次の奉仕を生み出していくというパワーとなっていくのだらうと思います。ひとりの恋心から始まって、親睦につながるストーリーこそが、ロータリーの奉仕活動への理想なのです。

今月は、地域社会の経済発展月間です。世界では約12億人が極度の貧困状態にあります。特に女性、若者、貧困層の人々の地位向上は、持続可能な経済的・社会的発展のカギとなります。貧困を減らすには、収入源の確保と雇用機会の創出が必要です。世界各地のロータリークラブは収入源の確保として、少額の融資プロジェクトや、職業研修の提供など様々な活動を実施しています。日本国内においても、新型コロナウイルスの流行によって、世の中の価値観も大きく変わりました。社会構造が大きく変わり、格差社会が顕著になってきました。ロータリー活動の基本は、社会が良くなること、世界が平和になること、特に未来を担う青少年たちや多くの方々が元気になること、希望をもって毎日の生活を送っていけるようになることです。

～世界に希望を生み出そう～

地域社会の経済発展月間



地域社会の経済発展月間によせて

国際ロータリー第2630地区
奉仕プロジェクト社会奉仕委員会 委員長

石田 公司 (美濃加茂RC)

コロナウイルス感染症が5類に分類されて半年、コロナ以前の社会によく戻ったように感じます。

しかし、国内ではウイルス対策期間中の経済の落ち込みによって浮き彫りになったのは経済的格差問題でした。ひとり親家庭の貧困問題、正規非正規賃金格差、ジェンダー格差、老人世帯の格差等社会問題化しています。これらによって「相対的貧困」という問題があらわになりました。

国際ロータリー RI の重点目標の一つである「地域社会の経済発展」では特に貧困地域における持続可能な経済的自立などを目標に世界的に事業を行うように促しています。各ロータリークラブの奉仕事業が起爆剤（インパクト）となるように支援しています。

国連はあらゆる形態の貧困をなくし全ての人々が豊かで平和に暮らすことができるようSDGs(持続可能な開発目標)を提唱しています。ロータリーの活動も大いに貢献しているといえるでしょう。各機関の努力もあって絶対的貧困層は年々減少しています。

しかし一方で我々先進国も「貧困」と無縁ではありません。国内に「相対的貧困」問題を抱えているからです。

相対的貧困とは何でしょうか。生存することが困難な絶対的貧困と違って、相対的貧困とは世帯所得が全世帯の可処分所得の中央値の半分(貧困線)に満たない状態のことを言います。

相対的貧困は目に見えにくいものです。着る物や食べるものが全くないわけではないのです。周りの人に比べて収入や資産が少なく生活も厳しく不安定な状態にあり、子供が学校以外の習い事ができない、香典や服が用意できず葬

式に参列できないなどの事例が起きます。

日本の貧困線は1人世帯で年収が127万円になり相対的貧困率は15.4%です。実に6.5人に1人が貧困ということになります。これはOECD38か国のなかで30番目、G7の中では最悪です。

日本の相対的貧困率の高さがあらわしているのは実は貧富の差の問題に他なりません。以前の日本は、世界の中でも比較的貧富の差が少ない社会といわれていましたが、この30年の間に貧富の格差が大きく開くことになりました。

相対的貧困に陥った人々を少しでも手助けすることを考えることはロータリーの奉仕活動の種を見つけることにつながります。

この地区でも鳥羽RCの「さくらフードパントリー」をはじめフードバンク事業で食糧支援を行った複数のクラブがあります。また、関中央RCではひとり親家庭の子供学習支援プロジェクトが行われました。

コロナ禍は終わりつつありますが日本の状況が根本的に変わったわけではありません。ここにロータリーの奉仕が求められています。

さて、奉仕事業を行うにあたって資金が足りなければ、補助金があります。

地区補助金はロータリー財団が管理している補助金で12月から1月中に財団に申請し認められれば次年度に使用できます。

また、本年度よりWCS補助金を奉仕プロジェクト補助金として各種奉仕事業にも拡大使用することができるようになりました。これらの補助金も使ってより大きな奉仕活動を行ってください。私たちの委員会では皆様の奉仕事業創生を支援します。

米山月間



米山月間によせて

国際ロータリー第2630地区
米山記念奨学委員会 委員長

長谷川 隆志 (岐阜東RC)

10月は、米山月間です。コロナも完全収束ではありませんが、この3年間は、卓話依頼があまりありませんでした。しかし、今年は、かなりの数の卓話依頼が各クラブより参っております。奨学生による卓話依頼もあれば、委員会メンバーによる米山の仕組みなどの説明を行ってほしいと言う依頼もあります。ということで、今回は米山奨学事業についてあらためてご説明させていただきます。米山奨学事業は、日本初のロータリークラブである東京ロータリークラブの設立に関わった米山梅吉氏の死後、その功績を後世に残すため、東京ロータリークラブが米山奨学制度を1952年に立ち上げました。この取り組みは、日本のロータリー独自の事業で、奨学事業の目的として外国人の勉学又は研究のために来日し、わが国の大学等教育機関に在籍する外国人留学生に対して奨学金を支給し、よってロータリーの理想とする国際理解と親善と平和に寄与することを目的としています。奨学事業の使命として将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成しています。この制度の特長として、世話クラブ・カウンセラー制度で

交流を重視しています。成功の鍵はカウンセラーの方々です。カウンセラーの役割として、国際交流と人材育成、良い人材を育成することにより日本中のロータリー会員が寄付に託した想いを叶える。奨学生にロータリーの精神を伝え、会員には、外国人留学生支援の意義を伝える役割があります。一部のロータリアンの方は、交換留学制度と混同され米山は大変だと言われる方もお見えですが、全く別物であります。ロータリアンの皆様方にはどんどん交流して、奨学生が卒業後は米山学友会に入ってそして就職して日本の国内外で活躍の場を広げてもらいたいと願うものです。この事業は御寄付によって運営されています。皆様方からの貴重な御寄付をよろしく願いいたします。



「おかえり～ 行ってらっしゃい！ そして、ようこそ。」

青少年交換委員会 委員長 河人 宗寿



古賀柚菜さん(四日市北 RC)



早野恵理子さん(大垣 RC)



佐藤来唯さん(美濃加茂 RC)



アリス・グリーンさん(美濃加茂 RC)

この8月に、昨年度から約10ヶ月のオリエンテーションを経て、3人の派遣候補学生が元気よく無事に旅立っていきました。古賀柚菜さん(四日市北RC)は8月2日、オーストラリア・バースト(バーストディブレイクRC)へ。早野恵理子さん(大垣RC)は8月11日アメリカ・ウスター(ウスターRC)へ。佐藤来唯さん(美濃加茂RC)は8月16日に同じくアメリカ・ディアボーン(ハイツパーク PMRC)へ。名古屋からの直行便がなく、国内線(羽田経由)を利用するため、早朝からの出発になりましたが、家族はもちろん、スポンサークラブ、篠原ガバナーをはじめとする委員会メンバーに見送られ、それぞれに「頑張ってください！」と笑顔で出発していきました。無事に派遣先のホストファミリーに迎えられた報告や現地でのロータリー活動の様子も届いています。

そして8月21日には、アメリカからアリス・グリーンさんが来日。ホストクラブ美濃加茂RCの会長・幹事・カウンセラーの暖かな出迎えを受けて、新しい日本での生活がスタートしました。第一ホストファミリーのきれいな純和風家屋に居を移し、長旅の疲れもすぐに解け、日本式の生活にどっぷりと浸かっているようです。



細野千尋さん(四日市 RC)

また8月27日のオリエンテーションでは、アメリカから2022-23年度派遣学生として7月に無事に帰国した、細野千尋さん(四日市RC)、西松出造君(羽島RC)の帰国報告会もありました。もう一人、後藤喜士郎君(岐阜RC)はそのままアメリカの大学に進学したため、7月のオリエンテーションで報告してくれました。細野さん、西松君2人の成長ぶりに驚かされると共に、この交換事業が人の成長にもすごい力を与えてくれることを確信しました。8月に出発した3人も一年後に帰国したときの姿が今から楽しみです。そして日本にやって来たアリス・グリーンさんもきっと“大和撫子”に成長して帰っていくことでしょう。

Rotary
District 2630



2023-2024年度
国際ロータリー第2630地区

地区大会

希望と未来を、あつく語ろう
多治見のまちで。TAJIMI

2023
11.17(金) 18(土)

会場 名古屋観光ホテル 多治見市パロー文化ホール
セラミックパークMINO

クラブ研修リーダーへのセミナー開催

研修委員会 委員 宮崎 弘夫 (鈴鹿ベイ RC)

地区研修委員会では7月29日(土)に長良川グランドホテルにてクラブ研修リーダーに向けてのセミナーを開催しました。今回のセミナーの主旨は研修・トレーニングを“ラーニング”と言い替え、クラブと会員の価値観高揚の大切さを参加者皆様に理解していただくことにありました。

基調講演講師として国際ロータリー研修リーダーの服部陽子様を迎え「ロータリーのラーニングの重要性」についてお話いただきました。講師はまず、クラブラーニングはクラブと会員がより良く変化するための学習会と捉え、研修リーダーを“ファシリテーター”として会員全員との対話形式で行うことが望ましいとご指導されました。次に講師は最近ロータリーで頻繁に使われる「D・E・I」は世界に変化をもたらす活動を行うロータリアンにとって最も基礎的な人道的条件であるとして、多様性があり・公平で・全てを受け入れる予備学習の必要性を強調されました。例会こそが学び(ラーニング)の場所であり、世界に変化を生む源と締め括りました。



服部陽子様の基調講演を受けて岩田委員長をファシリテーターとして服部講師・高橋直前 PDG・辻 PDG・浦田 PDG(地区研修リーダー)による公開討論会が行われました。PDG 其々からの貴重なご意見に服部講師が応える形となりましたが、流石に高歴方々の一言々々に身を構えて聞き入りました。服部講師が使われたPPTは地区事務所に保管されています。クラブ研修リーダーの復習を望みます。

2023-2024 年度インターアクト年次大会開催

インターアクト委員会 委員長 今津 美憲 (岐阜サンリバー RC)



「羽ばたこう 歴史あふれる 伊賀國」のメインテーマのもとに、8月1日(火)2023~2024年度第46回インターアクト年次大会が開催されました。

スポンサークラブは上野ロータリークラブ。主催校は、上野高校・伊賀白鳳高校インターアクトクラブです。

第2630地区からは450名程の参加。韓国第3600地区からは14名の参加があり会場がおおいに盛り上がっていました。

韓国から4年ぶりの参加によりホームステイも含め、国際色豊かな年次大会でした。

伊賀焼、伊賀の組紐、お菓子作りなど、講師を招いての分科会は言葉の壁を乗り越え共に楽しそうに活動していました。

インターアクト旗は、次期開催クラブの岐阜工業高校、岐阜東南ロータリークラブへ無事に引き継がれました。

今後とも、ロータリアンの熱き心で、インターアクトクラブの応援をよろしく願います。



韓国第 3600 地区インターアクト年次大会

インターアクト委員会 委員 安藤 博人 (多治見リバーサイド RC)

本年 8 月 5 日 (土)、韓国第 3600 地区インターアクト年次大会が、ヨジュサンバレーホテルにて行われました。コロナウイルスにより、地区の交流は途絶えておりましたが、今年の事業再開を大変喜ばしく思っております。

今回の地区派遣研修には、両地区十名のインターアクト生の交換交流が実現しました。第 3600 地区の皆様を 7 月 29 日に当地区へお迎えをし、ショートホームステイを経験して頂き、8 月 1 日 (火) に伊賀白鳳高校・上野高校主催の年次大会に出席



いただきました。

当地区より 8 月 4 日 (金) 出国をし、対面式、2泊3日のショートホームステイ、年次大会と多大なおもてなしを受けました。年次大会では両地区の交換学生によるダンス披露や、商品券争奪クイズなどユニークな企画もありました。両地区のインターアクト生はクラブ理念を基に、各々の目標を立て、異文化を学び、友情を育み、未来への希望に満ち溢れていました。この度は、素晴らしい体験をさせていただきました。



ガバナー伊賀 4 クラブ公式訪問報告

中勢・伊賀グループ ガバナー補佐 辻原 宣和 (久居 RC)

さる、8 月 9 日 (水) 名張産業振興センターのアスピアにおいて中勢伊賀グループの先陣を切って上野、名張、上野東、名張中央の 4 クラブ合同例会に公式訪問を頂きました。

当日は台風 6 号の影響か布引山脈 (山地) では少し雨が降りましたが、11 時頃になると名張の街は 30 度越えの猛暑日となりました。

アスピアの玄関前にポリオ撲滅のラッピングカーを駐車し、例会受付場前では募金活動が行われてい

ました。合同例会は 82% の出席率のもと、市川名張中央 RC 会長の点鐘で開始され久しぶりの懇談を交えた昼食の後、篠原ガバナーから今年度の国際ロータリー、第 2630 地区の活動方針、今後の地区活動内容などの説明をしていただきました。また、例会の前後の時間を使って各クラブの会長・幹事と篠原ガバナーとの懇談が行われ、篠原ガバナーから亀井ガバナーエレクト支援の激励と労いの言葉など頂き、クラブからは、率直な意見も出だされ、終始和やかな意見交換が行われました。



伊勢・鳥羽・志摩グループ ガバナー公式訪問

伊勢・鳥羽・志摩グループ ガバナー補佐 増田 肇（鳥羽 RC）

8月22日（火）23日（水）24日（木）と伊勢・鳥羽・志摩グループのガバナー公式訪問例会が行われました。初日は志摩市 賢島宝生苑での例会・会長幹事懇談会の後、鳥羽ビューホテル花真珠に泊まっていたいただき、ゆっくりとお食事等を堪能していただきました。2日目は伊勢商工会議所での例会・会長幹事懇談会の後、伊勢神宮内宮での特別参拝に池田六太郎直前 AG にお世話になり、行くことが出来ました。夜には会長幹事・浦田幸一・パストガバナー・パスト AG・地区出向者、総勢 33 名にて大懇親会を行うことが出来ました。ほとんどの皆様に一言ずつ話をしていただき、とても有意義なひとときでした。3日目はより一層和やかな雰囲気での最後の例会・会長幹事懇談会があり、多治見に帰られるラッピングカーのお見送りをして、無事に3日間の公式訪問例会を終了することが出来ました。

篠原一行ガバナー、山本和彦地区代表幹事、河人宗寿・名里貴志両地区幹事、大変お世話になりました。ありがとうございました。



志摩ロータリークラブ 会長 向井澄子

8月22日（火）鳥羽・志摩 RC 合同ガバナー公式訪問例会を賢島宝生苑にて開催いたしました。篠原ガバナー、河人地区幹事、名里地区幹事に遠方よりお越しいただき、また、増田ガバナー補佐のご尽力もあり RI・地区の方針を知る大変有意義な時間を持つことができました。総勢 58 名の出席でした。

地区のポリオ根絶のラッピングカーも会員の眼に触れる場所でお披露目でき、他に観光で来られた一般の人たちにも目にさせていただくことができました。

ガバナーのお人柄にふれ、講演では会員が一体となり心を一につにした思いがしました。

伊勢度会ロータリークラブ 会長 村田 春喜

8月23日ガバナー公式訪問のホストクラブとして、篠原ガバナーをお迎えしました。当日は、「ポリオ・ラッピングカー」でお見えになり、ポリオ根絶に力を入れておられることを痛感しました。

無事に公式訪問例会を終え、篠原ガバナー、地区幹事と共に伊勢神宮内宮特別参拝に同行した際のことですが、「ポリオ・ラッピングカー」を誘導した駐車係の方から「ポリオって何ですか？」と尋ねられました。市民の方にポリオ根絶の大切さを説明する、とてもいい機会となり「ポリオ・ラッピングカー」の効果がありました。当クラブも更に募金活動に力を入れていくこととします。

伊勢南ロータリークラブ 会長 中西 猛

篠原ガバナーをはじめ、随行された山本地区代表幹事、河人、名里両地区幹事をお迎えして、去る8月24日、伊勢RCと伊勢南RCとの合同例会が伊勢商工会議所にて開催されました。コロナの影響で本格的な合同例会は実に数年ぶりでもあり、過去の記憶を取り戻しつつ、一種独特の緊張感の中でガバナー公式訪問合同例会に臨んだ次第です。

しかし、合同例会前夜に行われた、ガバナーご一行様を囲んでの懇親会が催され、伊勢・鳥羽・志摩地区6クラブの会長、幹事、パストAG、並びに地区出向役員が参集しての宴席が盛大に行われました。和気あいあいとした、有意義な時間を過ごさせていただき、また、参加の皆様との懇親を深めたこともあり、合同例会時の緊張も少しは和らいだ感がしております。

宿泊を伴うガバナー公式訪問ということで、連日の酷暑のなか、遠路、伊勢の地にご来訪頂きましたこと、クラブ員を代表いたしまして衷心より御礼申し上げます。来る11月の多治見市での地区大会時に再びお会いできることを楽しみにしております。公式訪問、誠にご苦労様でございました。

再開 IN 関東に参加して

米山記念奨学委員会 委員長 長谷川 隆志（岐阜東RC）

8月5日（土）6日（日）茨城県つくば市つくば国際会議場に於いて、第3回米山学友会による世界大会、再開IN関東が4年ぶりに開催されました。



これは、関東10地区の米山学友会のメンバーが自分たちで企画・運営を行っているという聞き、全体的にチームワークの良さが感じられました。第2630地区からは、辻正敏カウンセラー、現在奨学生の房正雄さん、バトライマノズさん、学友会メンバーのレーヴァンクイさん、ホ・ヴァンフォンさん、陶相宇さんと私の7名の参加でした。まず、午前中に各地区の学友会の活動報告をパネル発表にて行い、学友会メンバー同士やロータリアンと名刺交換を行い、当地区の奨学生・学友会メンバーも積極的に交流を図っておりました。午後からは、メインの式

典があり、全国から米山奨学生・学友会メンバー・ロータリアン約1500人以上が集まりました。パク・サダコ実行委員長の挨拶、米山記念奨学委員会若林理事長の挨拶、大井川茨城県知事、五十嵐つくば市長の挨拶などがあり、その他各種イベントなどが順次行われ、それらの企画や式次第も司会進行もすべて学友会メンバーで行われていたため、多少の段取りミスはありましたが、素晴らしい内容だと感じながら拝見いたしました。次にパネルディスカッションとしてテーマ「米山学友会の在り方と世界大会の開催意義」について話し合いを行いました。その後、場所をホテルにかえて晩餐会が行われ、ここで学友メンバーや奨学生たちが積極的に交流をはかり、名刺やLINE交換が行われ、アトラクションとして、各国の楽器演奏や踊りなどのパフォーマンスを学友メンバーが行い盛り上がりまして晩餐会も終わりました。今回参加して、第2630地区としては何も活動発表もなく参加人数も少なく雰囲気には圧倒されてしまい、学友・奨学生は、自分たちも今度は何かやりたいと言ってもらえたことで今後第2630地区も盛り上がっていくのではないかと期待をしながら帰路につきました。



国際ロータリー第2630地区 会員数報告

2023年8月分

グループ	クラブ	例会数	会員数					
			期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
桑名	桑名	2	34	0	35	0	2	1
	桑名西	3	28	1	28	1	0	0
	桑名中央	2	28	3	28	3	0	0
	桑名北	3	29	5	29	5	0	0
	グループ計(4)		119	9	120	9	2	1
四日市	四日市	4	82	2	93	3	11	0
	四日市北	3	20	4	20	4	0	0
	四日市西	3	74	4	74	4	0	0
	四日市南	4	30	4	30	4	0	0
	四日市東	3	31	0	34	0	3	0
	グループ計(5)		237	14	251	15	14	0
鈴鹿・亀山	鈴鹿	3	69	10	72	10	3	0
	鈴鹿西	3	28	7	29	7	1	0
	鈴鹿ベイ	4	12	0	12	0	0	0
	亀山	3	10	0	10	0	0	0
	鈴鹿シティ	4	58	2	71	4	13	0
	グループ計(5)		177	19	194	21	17	0
中勢・伊賀	津	3	63	1	67	1	4	0
	上野	4	34	2	36	3	2	0
	名張	3	36	1	38	2	2	0
	津南	4	43	2	44	2	1	0
	津北	4	49	4	53	4	4	0
	上野東	4	37	2	37	2	0	0
	久居	3	28	3	28	3	0	0
	名張中央	3	19	2	19	2	0	0
	グループ計(8)		309	17	322	19	13	0
松阪・東紀州	松阪	4	73	0	75	0	2	0
	松阪東	3	70	14	71	14	1	0
	熊野	2	35	5	39	5	4	0
	尾鷲	4	11	2	11	2	0	0
	松阪山桜	4	38	3	38	3	0	0
	グループ計(5)		227	24	234	24	7	0
伊勢・鳥羽・志摩	伊勢	4	50	0	49	0	0	1
	鳥羽	4	30	3	30	3	0	0
	伊勢南	4	41	5	41	5	0	0
	志摩	4	42	12	41	11	0	1
	伊勢中央	3	44	0	44	0	0	0
	伊勢度会	4	16	4	16	4	0	0
	グループ計(6)		223	24	221	23	0	2
三重県合計(33)		1,292	107	1,342	111	53	3	










■2022年8月(前年度) 会員数報告

	期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
三重県合計(33)	1,283	101	1,324	105	44	3
岐阜県合計(40)	1,711	75	1,748	80	48	11
地区合計(73)	2,994	176	3,072	185	92	14

グループ	クラブ	例会数	会員数					
			期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
岐阜A	岐阜	3	75	2	83	2	8	0
	岐阜西	3	41	0	41	0	0	0
	岐阜長良川	3	40	0	42	0	2	0
	岐阜北	5	36	4	35	4	0	1
	岐阜中	3	26	1	26	1	0	0
	グループ計(5)		218	7	227	7	10	1
岐阜B	岐阜南	4	83	9	86	10	3	0
	岐阜東	4	40	2	44	2	4	0
	岐阜東南	3	35	0	35	0	0	0
	岐阜加納	3	87	0	85	0	0	2
	岐阜エトス	3	17	2	17	2	0	0
	岐阜城	3	18	0	20	0	2	0
グループ計(6)		280	13	287	14	9	2	
岐阜西濃	大垣	3	85	2	89	3	4	0
	大垣西	4	79	0	79	0	0	0
	本巣	3	27	1	27	1	0	0
	羽島	4	35	2	36	2	1	0
	不破	3	26	0	25	0	0	1
	大垣中	2	61	3	61	3	1	1
	大垣センチュリー	3	49	4	52	4	4	1
	岐阜淡墨	4	16	1	17	1	1	0
	岐阜サンリバー	3	17	4	17	4	0	0
	グループ計(9)		395	17	403	18	11	3
岐阜東濃	多治見	3	53	4	55	4	2	0
	中津川	2	69	3	71	4	4	2
	瑞浪	3	61	1	63	1	2	0
	恵那	3	46	3	49	4	3	0
	土岐	2	36	2	38	2	2	0
	多治見西	3	30	3	33	3	3	0
	中津川センター	2	57	2	61	2	4	0
	多治見リバーサイド	4	51	1	53	1	2	0
グループ計(8)		403	19	423	21	22	2	
東海北陸道	美濃	3	18	0	18	0	0	0
	各務原	2	29	1	30	1	1	0
	関	2	45	2	46	2	1	0
	郡上八幡	3	36	2	36	2	0	0
	関中央	4	27	0	28	0	1	0
	郡上長良川	4	32	5	33	5	1	0
	グループ計(6)		187	10	191	10	4	0
	高山	3	34	0	36	0	2	0
濃飛	下呂	3	26	1	32	3	6	0
	高山西	2	36	2	37	2	1	0
	美濃加茂	3	41	4	41	4	1	1
	可児	3	40	1	40	1	0	0
	高山中央	2	54	3	56	3	2	0
	グループ計(6)		231	11	242	13	12	1
岐阜県合計(40)		1,714	77	1,773	83	68	9	
地区合計(73)		3,006	184	3,115	194	121	12	










2023年8月分

入会会員

 池田 充夫 2023.8.21 入会 税理士	 小川 謙 2023.8.3 入会 船舶業	 清澤 和紀 2023.8.3 入会 電力供給	 川出 友彦 2023.8.9 入会 飲食業	 田村 好正 2023.8.23 入会 保険代理業	 田端 英明 2023.8.10 入会 バス事業	 山川 憲一 2023.8.2 入会 普通銀行	 鍋谷 肇 2023.8.2 入会 証券業	 坂口 知玄 2023.8.21 入会 電気事業
--	--	--	---	--	--	--	--	---

入会会員

入会会員 7月分




 伊藤 英明 2023.8.17 入会 有線放送	 小川 幸書 2023.8.4 入会 貨物自動車運送	 三摩 浩 2023.8.7 入会 建築設計	 高畑 悠佑 2023.8.22 入会 生命保険	 伊藤 孝浩 2023.8.18 入会 情報通信業	 衛星クラブ会員 一柳 充 2023.7.6 入会 産業用機械及び同部品製造	 衛星クラブ会員 中島 慎之助 2023.7.6 入会 オフィス用品販売	 衛星クラブ会員 天野 直樹 2023.7.6 入会 産	 衛星クラブ会員 山下 剛央 2023.7.6 入会 解体業
---	---	---	---	--	---	--	--	--

入会会員 7月分

 衛星クラブ会員 平野 裕司 2023.7.6 入会 塗装業	 衛星クラブ会員 北村 翔 2023.7.6 入会 ソフトウェア開発	 衛星クラブ会員 藤森 早紀 2023.7.6 入会 空調設備業	 衛星クラブ会員 金丸 明子 2023.7.6 入会 事務用品製造
--	--	--	---

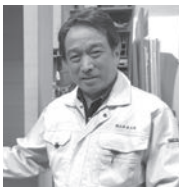
逝去会員

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

 下野 利彦 1978.6.2 入会 2023.8.12 逝去 1990-91 年度会長 2002-03 年度ガバナー補佐 ベネファクター マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 3回 米山功労者 マルチプル 5回	 上田 孝 1980.12.5 入会 2023.7.6 逝去 1996-97 年度会長 2012-13 年度会長	 吉川 義康 1980.12.5 入会 2023.7.6 逝去 2019-20 年度会長 ポール・ハリス・フェロー 米山功労者
---	---	---

地区代表幹事の横顔

ガバナー事務所だより



山本和彦地区代表幹事は、篠原ガバナーと同日入会です。職業分類は、家具製造販売業。事業所「山本木工所」は、1960年創業。木工技術力の高さに定評があり、建築家のさまざまな要求に答える注文家具制作を主力に事業展開をし、無垢材を使ったオーダーメイド家具や木製システムキッチン等を中心に、お客様の要望に応じて制作しています。「Noと合わない」をモットーとし、前例のないものに挑戦していく精神を大切にしています。

2020年に完成した本社ショールーム「木らり」の建築プロジェクトで連携した建築設計管理者と注文家具プロジェクトを立ち上げ、企業経営者をターゲットにこだわりのオンリーワンデスクの受注を皮切りに、特殊液体ガラス加工で防水を実現した、ヒノキのうつわ（メスティンに収納可能）や洗面台、流し台。木材とレジン（エポキシ樹脂）を型の中で一体化させたテーブル。脚部をZ字にデザインしたスツール。家具用無垢材の端材を活用したインテリア小物等を開発・商品化しています。これからはますます進化していきそうです。

ちなみに代表幹事のモットーは、「ガバナーの、手となり足となり、やがてクビとなる」。



(ガバナー事務所 事務局長 河人宗寿)

希望と未来を、あつく語ろう 多治見のまちで。

11.17(金)



基調講演 (会場:名古屋観光ホテル)

- 15:00 受付・登録開始
- 15:30 開会・点鐘
- 15:40 基調講演
- 16:50 お礼の言葉

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

- 17:15 開会の言葉
アトラクション【シェフ De オペラ】
- 19:30 ローターソング「手に手つないで」
- 19:35 閉会の言葉

基調講演

17日(金) 15:40~

RI会長代理の方に講演していただく予定です。

パートナープログラム

18日(土) 12:40~

虎溪山 永保寺拝観・琴鑑賞会

- 13:00 永保寺到着
寺院内見学
- 14:45 琴演奏鑑賞
- 16:00 大懇親会場へ移動



記念講演

18日(土) 13:20~

テーマ『みんな一緒 和の心』

講師
裏千家15代・前家元
千玄室 大宗匠

元国際ロータリー理事
元ロータリー財団管理委員
公益財団法人
ロータリー日本財団理事長
国際ロータリー
第2650地区バスターガバナー



11.18(土)



本会議 (会場:パロー文化ホール)

- 10:30 受付・登録開始
- 10:40 大会特別委員会
- 11:45 オープニング
- 12:00 開会・点鐘
- 13:20 記念講演
- 14:45 大会特別委員会報告及び大会決議採択
RI表彰
地区表彰
ロータリー財団・米山記念奨学会表彰
感謝状贈呈
- 16:10 閉会・点鐘

大懇親会 (会場:セラミックパークMINO)

- 17:30 開会の言葉
アトラクション「クイーンズ・ティアーズ・ハニー」
- 19:15 閉会の言葉

アトラクション

17日(金)/18日(土)



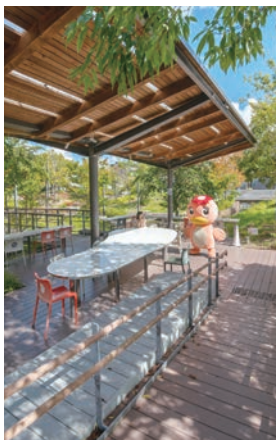
17日(金) RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

アトラクション【シェフ De オペラ】

18日(土) 大懇親会

アトラクション【クイーンズ・ティアーズ・ハニー】

ガバナー月信 表紙説明



「虎溪用水広場」

正式名称は「多治見駅北広場」です。JR多治見駅北口の人々の交流や憩いの拠点、文化・芸術との出会いの場として設立された広場です。2016(平成28)年6月開園。

1902(明治35)年9月に近世以降の農民の悲願を込め、永保寺付近の土岐川・虎溪頭首工から取水し、虎溪山の裏山をトンネルで貫いて弁天池から駅北を通して、大原川に合流します。かつては用水周辺の田畑に広く水を届け、ときには防水や防疫に使われるなど人々の生活に重要な役割を果たしていましたが、今は暗渠化され、歩道等の地下を通っています。

駅北整備事業の一つとして、虎溪用水の親水性を利用し公園として整備。すり鉢状の地形を利用して、イベントやミニコンサート、マルシェ等開催され、又夏季は噴水やミストも楽しめ、ベンチではゆっくりと飲食や自主学习などに利用できます。

この公園の植栽事業では、石垣ガバナー(多治見西RC)年度に多治見3RCが協力・支援し、その寄贈を記した石の銘板が設置されています。

2020(令和2)年、土木学会デザイン賞優秀賞、グッドデザイン賞特別賞を受賞。(モデルはおなじみ「うながっぱ」と、米山奨学生グエン・ティ・トゥエンさん)

2023-2024 年度 地区事務所・ガバナー事務所・地区大会事務所 案内

地区事務所	〒500-8212 岐阜県岐阜市日野南3-5-16 TEL 058-248-9724 FAX 058-248-9725 E-mail: branch@rid2630.org	執務時間 9:30-17:30 (土・日・祝日 休務)
ガバナー事務所 地区大会事務所	〒507-0036 岐阜県多治見市田代町3-2-1-1 TEL 0572-56-2630 FAX 0572-56-2631 E-mail: 2324@rid2630.org (ガバナー事務所) E-mail: 2324taikai@rid2630.org (地区大会事務所)	執務時間 10:00-16:00 (土・日・祝日 休務)